

折に触れ 四字熟語

NO. 32 『君子九思』 くんし きゅうし

- < 意味 > 君子が思い心がけるべき九つのこと。
物を見るときははっきりと見、聞くときはさとく正確に聞きたいと思い、顔つきは穏和を心がけ、姿は恭しくありたいと思い、言葉は誠実でありたいと思い、仕事には慎重を心がけ、疑念には質問を心がけ、怒るときはその後の困難な事態を思い、利益に対しては道義を考えてよしあしを吟味するということ。
- < 出典 > 「論語」<季子>
孔子曰、君子有九思。 視思明、聴思聰、色思温、貌思恭、言思忠、事思敬、疑思問、忿思難、見得思義。
- 読み下し：『孔子曰く、君子に九思あり。 視るは明を思い、聴くは聰を思い、色は温を思い、貌は恭を思い、言は忠を思い、事は敬を思い、疑わしきは問うを思い、忿りには難を思い、得るを見ては義を思う。』
- 通 釈： 孔子がいわれた、君子には九つの思うことがある。視覚において明敏であること、聴覚において鋭敏であること、表情において柔らか味があること、態度において誠実であること、発言において忠実であること、行動において慎重であること、疑問に接して探究心をもつこと、感情に駆られてはた迷惑をかけぬこと、利に直面しても義を忘れぬこと。
- 一 言： 論語シリーズその1
目下、世界の耳目を集めるトランプ大統領の言動を見ながら、ふとこの四字熟語を思いました。そもそもトランプ大統領を君子になぞらえることに異論をお持ちになる方もあるかと思いますが、広辞林によると、君子の意味の①に、高い官職のある人。地位にある人。とあります。
- 参照文献： 新徳間書店・久米旺生訳「論語」 岩波書店・金谷治訳注「論語」 三省堂「四字熟語辞典」